

松平家史料展示室 企画展

武家のよそおい

- 主 催 福井市立郷土歴史博物館
- 会 場 松平家史料展示室
- 会 期 令和2年3月20日(金)～5月17日(日)
- 休館日 4月13日(月)、5月7日(木)

江戸時代は、厳しい身分制社会の中で、身分や職業、性別や年齢、場面や季節などによって、異なる衣服を身に着けました。公家と武家、町人では、その装いも異なりました。また時代によっても変化していきます。

越前松平家は、江戸時代を通じて福井藩を治めた大名家ですが、武家ならではの衣装が今に伝えられています。本展では、江戸時代の武家の装いとして、直垂、袴、陣羽織をご紹介します。

ひたたれ 直垂

直垂は、^{かくえり・ほうりょう}方領（方形に仕立てた襟）^{けつ}闕腋（脇の開いた仕立て）の肩衣に袖を付けた上衣と袴からなる衣服です。直垂の形態や装飾、着装方法は、多くの衣服がそうであるように、時代とともに変化していきますが、江戸時代後期には、ほぼ右のような形態に定着しました。

その特徴は、^{はたそで}鱈袖半幅、^{おくそで}奥袖一幅の袖幅一幅半で、上衣前面の袖付、背縫、背面の鱈袖と奥袖の縫目に^{きくとし}菊綴と呼ばれる^{とじひも}綴紐が、また胸には胸緒が、袖口の先には括り緒から変化した^{つゆ}露と呼ばれる組紐の飾りが付きます。

直垂は、平安時代以前に庶民の労働着として始まりました。鎌倉時代には武家の平服となり、室町時代には武家の晴れの服、また式正の衣服として、さらには公家にも用いられるようになりました。

江戸時代になると、武家の服制において、束帯、衣冠に続く礼服として定まり、年始登城や年始芝・上野歴代廟所参拝の際に、従四位下侍従以上が着用しました。この時、従四位下無官（四品と呼ばれる）は^{かりぎぬ}狩衣、五位の諸大夫（旗本で五位何守となった者）は^{だいもん}大紋を着用しました。

直垂着用の際には、必ず烏帽子を身に着け、出仕の際には、^{ちゅうけい}中啓（^{すえひろ}末広扇）を持ち、腰に^{ちい}小さ刀（^{がたな}三所物が付属した切小尻の脇差）を差し、お供の者に糸巻太刀を持たせました。

直垂の生地には將軍家、御三家、御三卿、加賀、家門は^{すませいごう}透精好（精好紗）を用い、国持大名は無地精好を用いました。また紅・紫・萌葱は將軍家の色としてはばかったと言いますが、例外的に会津松平家・黒田家・越前松平家は萌葱を用いることができたと言います。実際、越前松平家には萌葱色の紗地の直垂（写真）が残っています。



萌葱紗地直垂 越葵文庫（当館保管）

袴

袴は、^{かたぎぬ}肩衣と袴の一对からなる衣服です。もとは上下一揃いの衣服を総称して上下と呼んでいましたが、江戸時代後期には、特に肩衣袴の一式を指すようになり、新たに「袴」という漢字が使われるようになりました。麻地に微細な小紋柄が型染めされるのが一般的です。

大名家では「定め小紋」と言って、家々で決まった柄の小紋を用いたと言われていました。徳川将軍家の松葉小紋、紀州徳川家の^{こくきめ}極鮫小紋、加賀前田家の^{きくびし}菊菱小紋などは有名で、「留柄」と言って、他家での使用が禁じられていました。松平家に伝わった袴には、^{わちがい}輪違小紋の柄が特に多く見られます。

生地は、^{たてよこ}経緯糸ともに麻を用いた「諸麻」と、経糸に絹糸、緯糸に麻を用いた「^{よこあさ・おうま}横麻」とがあり、諸麻が正式でした。また袴の長短によって、長袴を組み合わせた長袴と、切袴を組み合わせた半袴があり、長袴がより格式が上でした。

江戸時代の武家の服制では、直垂・狩衣・大紋等を着用する場面に次ぐ礼服として用いられ、江戸城に登城し官位に任名されるような際には麻製の半袴を、五節句などの格別の式には長袴を着用しました。



浅葱麻地輪違小紋葵紋付長袴
福井市春嶽公記念文庫

陣羽織

陣羽織は甲冑の上に羽織る外衣です。陣中で威容を示すために用いられたのが始まりで、袖無しの^{かたぎぬ}肩衣形式、袖付きの道服形式、小袖形式など形態はさまざまで、生地には羅紗や^{どんす}緞子、毛織物など舶来の生地を用いて、華やかな装飾を施したものが多く見られます。江戸時代に入ると、実用として用いられることは無くなりましたが、甲冑と同様に、武家の道具の一つとして引き続き備えられました。



茶頭文紗地蜻蛉模様陣羽織
越葵文庫（当館保管）

※主要参考文献

松平春嶽著『幕儀参考』（『松平春嶽全集 第一巻』原書房、1973年4月発行、所収）
神宮司庁他編著『古事類苑 服飾部』吉川弘文館、1979年7月発行
丸山伸彦著『武家の服飾』『日本の美術』至文堂、1994年発行
鈴木敬三編著『有職故実大辞典』吉川弘文館、1995年発行
刑部芳則『明治国家の服制と華族』吉川弘文館、2012年発行

次回の展示

松平家史料展示室

企画展「福井藩の幕末維新～海防～」

令和2年5月20日（水）～7月14日（火）

松平家史料展示室 展示解説シート No.130
令和2年3月20日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 佐々木佳美
印刷 宮本印刷